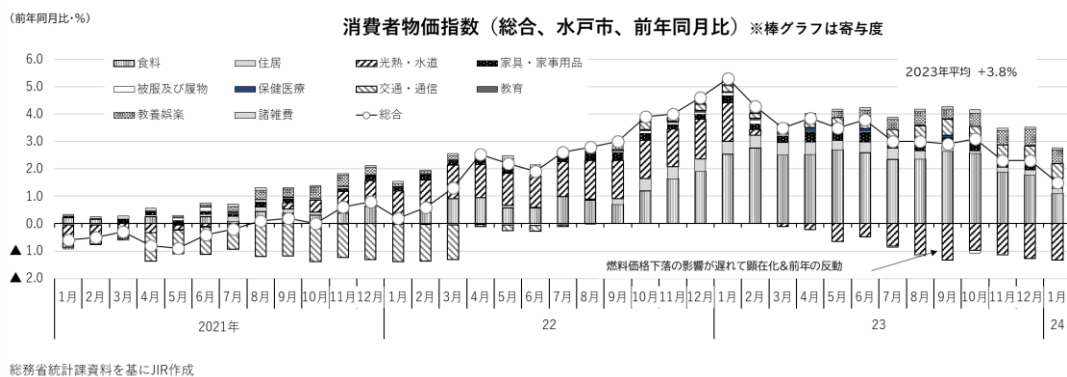


県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している

<今月のポイント>

- 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、個人消費を中心に経済活動の正常化が進んでおり、総じてみれば物価高などの影響を受けつつも、持ち直している。
- 総合判断及び各項目の判断は据え置き。個人消費は、供給側の販売動向などからは緩やかな回復が続く。設備投資も、中小企業における投資計画・実績が改善しており、持ち直している。一方、生産は、海外経済減速などを背景に横ばい圏内で推移している。
- 消費者物価指数（総合・水戸市）をみると、23年以降の物価上昇率は、伸びは鈍化したものの食料品や教養娯楽等の上昇により、均してみれば前年同月比3%台で推移している。
- 先行きは、物価高が企業や家計にもたらす影響、為替動向、中国などの海外経済減速の行方などについて引き続き注視する必要がある。



<基調判断・天気図>

	基調判断				
	前月からの 変化	2024年2月調査	12月調査	1月調査	2月調査
総合判断	➡	物価高などの影響を受けつつも、 持ち直している			
生産活動	➡	横ばい圏内で推移している			
設備投資	➡	持ち直している			
住宅投資	➡	弱含みにある			
公共投資	➡	持ち直しの動きに足踏みが みられる			
個人消費	➡	緩やかに回復している			
雇用情勢	➡	横ばい圏内で推移している			

◆基調判断に添えた矢印は方向感を、天気図は水準を示します

生産は横ばい圏内で推移している

23年12月の鉱工業生産指数（2015年＝100、季節調整値（※1））は97.4、前月比0.8%増と、小幅ながら2か月振りに上昇した。業種別の内訳について寄与度の大きい順にみると、生産用機械（同8.4%増）、汎用・業務用機械（同7.4%増）、輸送機械（同6.8%増）、鉄鋼（同8.2%増）、プラスチック製品（同3.9%増）等が上昇した一方、化学（同10.4%減）、電気機械（同5.9%減）、食料品・たばこ（同1.2%減）等が低下した。

当社の企業調査では、10-12月期の製造業の生産判断DI（※2）は2.4%と前期（7-9月期▲19.8%）比22.2pt増と大幅に改善した。企業ヒアリング（2月）では、「鉄鋼需要は中国経済の不振により不透明な状況が続くが、国内については自動車分野を中心に改善傾向」（鉄鋼）との声が聞かれた一方、「（半導体関連製品について）メーカーの在庫調整の影響が残存している。需要の（本格的な）回復は6月以降を見込む」（電子部品・デバイス）との声が聞かれた。また建設用機械では、中型機械などの需要の落ちこみを指摘する声があったものの、「北米向けの大型機械の生産は好調で繁忙が続いている」など、海外鉱山向け需要の底堅さを指摘する声も聞かれた。

以上を踏まえ、基調判断は「横ばい圏内で推移している」との判断を据え置いた。

先行きについて企業調査をみると、24年1-3月期の生産判断DIは0.0%と、前期比2.4pt減と低下する見通し。海外経済減速やコスト高・価格転嫁難による企業収益の悪化に対する懸念から、企業側では先行きの生産について慎重な見通しが続いている。

外需に関係する貿易面についてみると、12月の茨城県内税関3支署の輸出額は2,765億円、前年同月比24.9%増と27か月連続で前年水準を上回った。鹿島は石油製品（同0.2%減）が減少したものの鉄鋼（同12.5%増）や有機化合物（同14.3%増）などの増加により同6.5%増、日立（日立港・常陸那珂港）は自動車（同35.7%増）や建設用・鉱山用機械（同46.9%増）の増加が寄与し同32.6%増であった。

※1：原数値から季節的要因を調整した数値 ※2：前年比で生産の「増加」と「減少」との回答割合の差



設備投資は持ち直している、住宅投資は弱含み、公共投資は足踏みがみられる

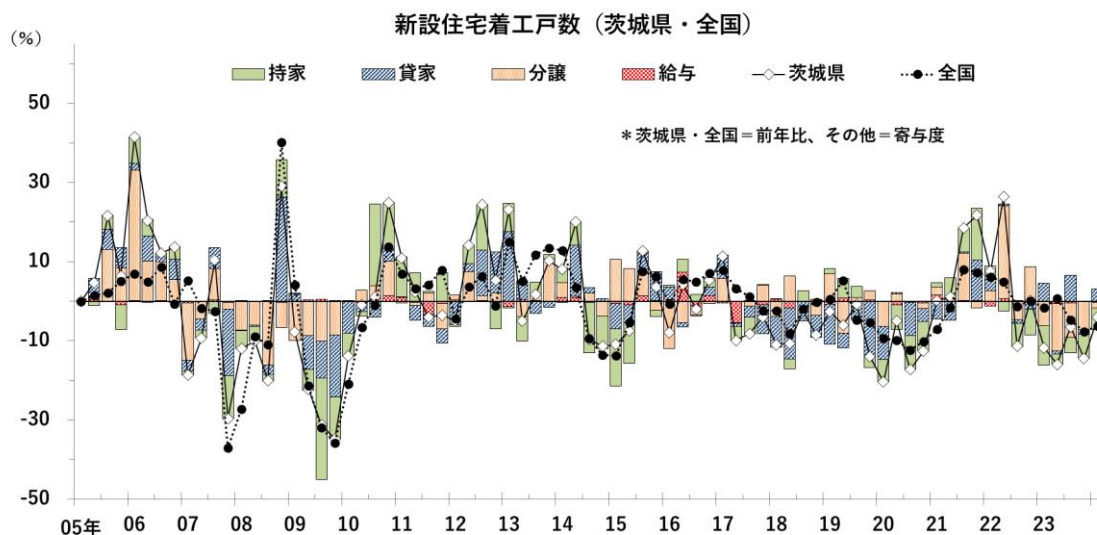
23年12月の建築物着工床面積（民間非居住用）は、倉庫や工場、店舗などの増加により159千㎡、前年同月比245.6%増（3.5倍）と2か月連続で前年水準を上回った。

日銀短観（茨城県、23年12月）によると、県内企業の23年度の設備投資額（※）は、全産業ベースでは前年度比0.9%減ながら、中小企業では同22.8%増であった。当社の企業調査（23年12月）では、23年7-12月期の設備投資実施企業割合（件数ベース）は、全産業で60.0%（前期比7.0pt増）であった。また同調査によると、設備投資の目的について「合理化・省力化」と回答した県内企業は全体の64.3%（コロナ禍前の19年12月比10.8%増）、「省資源・省エネルギー」は20.8%（同8.8%増）となっており、生産性向上や環境への配慮を目的とした企業の設備投資はコロナ禍前に比べ進んでいるとみられる。これらを踏まえ、設備投資は「持ち直している」との判断を据え置いた。

12月の新設住宅着工戸数は1,286戸、前年同月比8.5%減と2か月連続で前年水準を下回った。内訳をみると、持家は587戸、同15.1%減と10か月連続で減少、貸家は433戸、同2.6%増と2か月振りに増加、分譲住宅は261戸（うちマンション55戸）、同6.8%減と5か月連続で減少した。住宅投資は主力の持家や分譲住宅の低調が続いており、建築コスト上昇により販売側でも供給に慎重な見方があることを踏まえ「弱含みにある」との判断を据え置いた。

1月の公共工事請負金額は91億9百万円、前年同月比30.7%減と5か月連続で前年水準を下回った。内訳をみると、国（同75.9%増）が増加したものの、独立行政法人（同94.1%減）、県（同13.8%減）、市町村（同39.5%減）のいずれも減少した。23年4-24年1月累計では前年同期比11.4%減（5か月連続の減少）。国や独立行政法人の大型工事の減少により請負金額の前年割れが続いていることを踏まえ、公共投資は「持ち直しの動きに足踏みがみられる」との判断を据え置いた。

※：ソフトウェアを含む（除く土地投資額）



個人消費は緩やかに回復している

1月の乗用車販売台数（乗用車新規登録台数＋軽乗用販売台数）は7,924台、前年同月比9.7%減と、13か月振りに前年水準を下回った。内訳は普通乗用車が同11.9%増、小型乗用車が同24.1%減、軽乗用車が同23.3%減であった。軽自動車の減少については、一部メーカーの検査不正問題（出荷停止）の影響が大きかった（同メーカー車を除く軽自動車販売台数の増減率は、前年同月比5.7%減）。

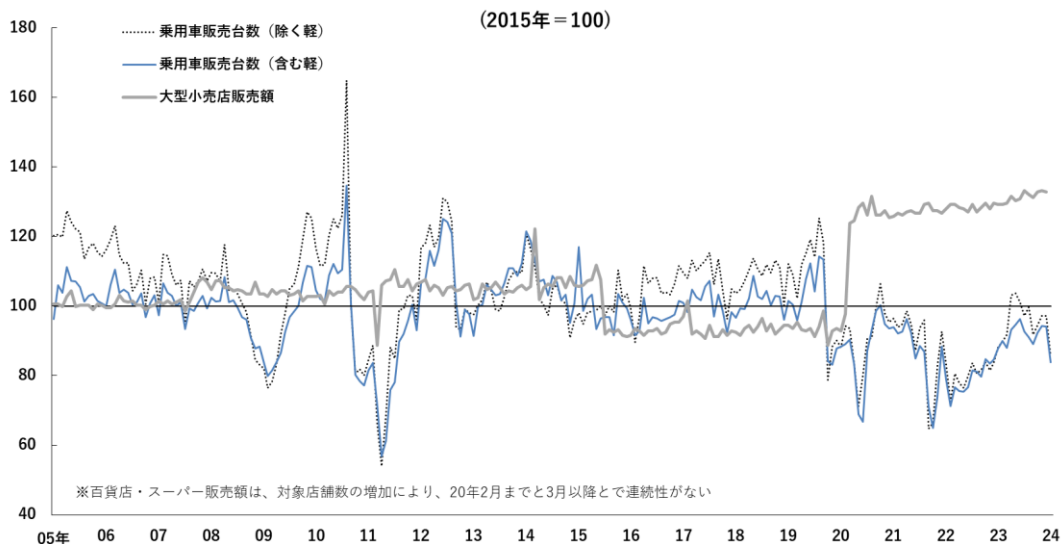
23年12月の百貨店・スーパー販売額は、全店ベースで前年同月比2.2%増と10か月連続で前年水準を上回り、既存店ベースは同0.0%と前年と同じであった。専門量販店販売額は、家電量販店が同2.7%増と5か月振りに、ホームセンターが同0.3%増と3か月連続で前年水準を上回った。ドラッグストアは同3.7%増と32か月連続で、コンビニエンスストアは同0.4%増と25か月連続で前年水準を上回った。

12月の家計消費支出（2人以上の勤労者世帯・水戸市）は、前年同月比27.8%減と3か月連続で前年水準を下回った。一方、消費マインドについて「茨城県景気ウォッチャー調査（23年12月調査分）」をみると、家計動向関連DI(現状判断)は51.8、前回9月調査比1.1pt増と、判断の目安となる50を5期連続で上回った。

企業ヒアリング（2月）では、「洗車・コーティングなどの油外収入に注力し、昨年のスタンド売上は前年より伸びた」（ガソリンスタンド）、「（コロナ禍からの回復により）1月は中高年を中心とした会員確保が堅調だった」（フィットネスクラブ）といった声が聞かれた。

このように、個人消費は、総じてみれば経済活動の正常化を背景に持ち直しの動きが続いていることから「緩やかに回復している」との判断を据え置いた。先行きも、対面型サービスなどが牽引する形で回復傾向が続くことが期待される一方、物価上昇がもたらす影響などについて、引き続き注意が必要とみられる。

乗用車販売台数、百貨店・スーパー販売額



出所：茨城県自動車販売店協会、経済産業省 * X-13-ARIMAによる季節調整値、月次ベース

雇用情勢は横ばい圏内で推移している

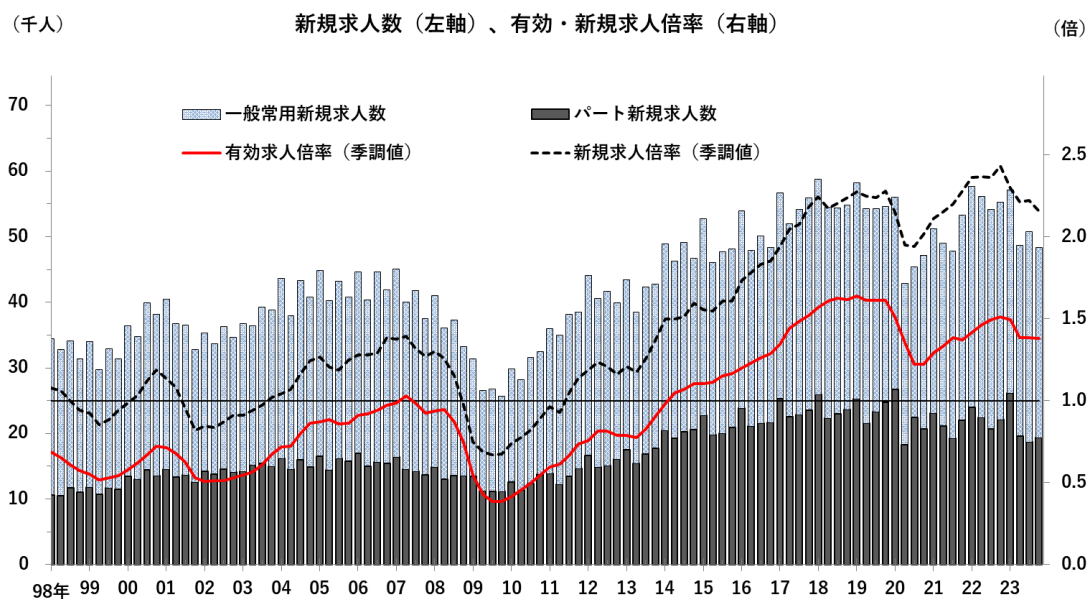
23年12月の雇用関連指標を季節調整値でみると、有効求人倍率（＝有効求人人数／有効求職者数）は1.35倍、前月比0.02pt減と2か月連続で低下した。新規求人倍率は2.03倍、前月比0.20pt減と3か月振りに低下した。就業地ベースでの有効求人倍率は1.53倍、前月比0.02pt減であった。有効求人人数について雇用形態別にみると、正社員は前年同月比3.7%減、パート・派遣・契約社員等は同10.4%減であった。

新規求人数は15,465人、前年同月比10.1%減と7か月連続で前年水準を下回った。一方、新規求職者数は5,753人、同5.1%増と2か月振りに前年水準を上回った。新規求人数（パートを除く）の内訳を産業別にみると、宿泊業・飲食サービス業（同49.4%増）が増加した一方、建設業（同13.7%減）、情報通信業（同9.3%減）、製造業（同8.3%減、12か月連続の減少）、運輸・郵便業（同6.2%減）などが減少した。

失業者を示す雇用保険受給者数は7,993人、前年同月比7.6%増と9か月連続で前年水準を上回った。事業主都合離職者数は394人と2か月振りに前年水準を上回った。

雇用情勢は、有効求人倍率が均してみれば横ばいで推移しており、新規求人数の前年割れが続いていること、雇用保険受給者数も増加傾向にあることを踏まえ「横ばい圏内で推移している」との判断を据え置いた。なお、民間職業紹介における県内の求人動向は、正社員は緩やかな増加傾向、アルバイト・パートは横ばいとなっている。

当社調査（12月・回答企業194社）によると、23年10月の最低賃金改定を受けて、賃金を引き上げた県内企業は、全体の54.6%であった（前年比+4.2pt）。最低賃金の引き上げにより県内の所得環境の改善が期待される一方、物価上昇が続く中で、企業側には生産性向上やコスト削減等の企業努力が引き続き求められる状況となっている



茨城県経済動向 基調判断の推移

		基調判断
2020	6	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>— 自営業総合判断DIがリーマンショック後に次ぐ低い値に</small>
	7	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>— 先行きは感染の第2波の悪影響が懸念</small>
	8	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>— 個人消費は底入れしつつあるものの、生産の落ち込みが続く</small>
	9	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>— 方向感としては持ち直すも、生産などの低水準が続く</small>
	10	県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	11	県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	12	県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる
2021	1	県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	2	県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	3	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	4	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	5	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	6	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	7	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	8	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	9	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	10	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	11	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	12	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
2022	1	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、持ち直しの動きがみられる
	2	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、持ち直しの動きがみられる
	3	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	4	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	11	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	12	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
2023	1	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	2	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	3	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	4	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	5	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	6	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	7	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	8	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	9	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	10	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	11	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	12	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
2024	1	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	2	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している

各指標の動向判断の推移

		生産	住宅	設備投資
2023	1	持ち直している	弱含みにある	持ち直しつつある
	2	持ち直している	弱含みにある	持ち直しつつある
	3	持ち直しの動きに足踏みがみられる	弱含みにある	持ち直しつつある
	4	持ち直しの動きに足踏みがみられる	弱含みにある	持ち直しつつある
	5	持ち直しの動きに足踏みがみられる	弱含みにある	持ち直しつつある
	6	持ち直しの動きに足踏みがみられる	弱含みにある	持ち直している
	7	持ち直しの動きに足踏みがみられる	弱含みにある	持ち直している
	8	持ち直しの動きに足踏みがみられる	弱含みにある	持ち直している
	9	持ち直しの動きに足踏みがみられる	弱含みにある	持ち直している
	10	横ばい圏内で推移している	弱含みにある	持ち直している
	11	横ばい圏内で推移している	弱含みにある	持ち直している
	12	横ばい圏内で推移している	弱含みにある	持ち直している
2023	1	横ばい圏内で推移している	弱含みにある	持ち直している
	2	横ばい圏内で推移している	弱含みにある	持ち直している

		公共投資	個人消費	雇用
2023	1	持ち直しつつある	持ち直している	持ち直している
	2	持ち直しつつある	持ち直している	持ち直している
	3	持ち直している	持ち直している	持ち直している
	4	持ち直している	持ち直している	持ち直している
	5	持ち直している	持ち直している	持ち直している
	6	持ち直している	持ち直している	持ち直しの動きに足踏みがみられる
	7	持ち直している	緩やかに回復している	持ち直しの動きに足踏みがみられる
	8	持ち直している	緩やかに回復している	持ち直しの動きに足踏みがみられる
	9	持ち直している	緩やかに回復している	持ち直しの動きに足踏みがみられる
	10	持ち直している	緩やかに回復している	持ち直しの動きが弱まっている
	11	持ち直している	緩やかに回復している	持ち直しの動きが弱まっている
	12	持ち直している	緩やかに回復している	持ち直しの動きが弱まっている
2023	1	持ち直しの動きに足踏みがみられる	緩やかに回復している	持ち直しの動きが弱まっている
	2	持ち直しの動きに足踏みがみられる	緩やかに回復している	持ち直しの動きが弱まっている

「茨城県経済動向」は旧常陽地域研究センター（常陽アーク）が
1969年より継続してまいりました月例調査を、
2019年4月以降、常陽産業研究所が継承・実施しているものです

表紙の通番は常陽アーク時の通番を引き継いでおります

常陽産業研究所
地域研究部
地域研究センター

- ・本資料は、当社が独自に集計・入手しているデータを除き、2024年2月27日現在で公に利用可能な統計指標に基づき作成されています。
- ・公開されている統計指標は、過去に遡及して改訂されることがあります。
- ・統計指標を利用する際は、常に最新の公表資料を参照する必要があります。
- ・本資料は、統計指標とそれに基づく判断が正確であるよう最善を尽くしておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に示した将来に関する全ての記述は、現時点での判断を示しているに過ぎません。